

令和6年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 南幌町商工会 経営発達支援事業 評価支援委員会
2. 開催日時 令和7年3月24日(月)13時25分
3. 開催場所 南幌町商工会館 2階 研修室A
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 南幌町 産業振興課長 岩本 聖
南幌町農業協同組合 総務付参事役 笹島 忍
 - (2) 商工会関係者 <北海道商工会連合会>
組織経営支援部企業支援課・広域支援課 主幹 工藤大幸
<南幌町商工会>
会 長 和田 修
副 会 長 吉田義哉 細川義雅
部 会 長 境 憲明(工業)
事 務 局 長 柿崎 納
経営指導員 長谷川次人

5. 内容

出席者が揃ったので事務局長が開会を宣し、和田商工会長が開会挨拶を行った。

議事進行は、和田会長が行う。審議事項に関連性があるので1～3まで一括、4、5、6事務局より夫々説明し、質疑等いただく。

1. 第2期経営発達支援計画について

事務局は、別紙資料に基づいて説明した。

2. 令和6年度伴走型小規模事業者支援推進事業報告及び決算について

事務局は、令和6年度において経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業を別添資料に基づき説明した。

<令和6年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告～3事業>

①事業：新たな需要の開拓に寄与する事業

具体的事業の内容：「デジタルサイネージ広告の活用」

町内4か所の集客施設に設置しているデジタルサイネージ広告を活用して、地域内外の客を各事業者の営む店舗へ誘導することで、新規客の獲得と売上の増加を図った。

広告掲載期間～令和6年9月～令和7年2月

検索数～15,474回(令和6年9月～令和7年1月)

内訳：はれっば12,647回、ビューロー1,351回、

ぽろろ1,216回、南幌温泉260回

掲載店～9店

成果～1)売上増加率5%は4者(57%)

9者のうち2者は創業者のため含めず
2) 利益増加率3%は5者(71%)

9者のうち2者は創業者のため含めず
説明後、9者のデジタルサイネージ広告の動画を放映した。

②事業：新たな需要の開拓に寄与する事業

具体的事業の内容：「鹿児島県商工会連合会運営アンテナショップへの出展」
札幌圏を中心に販路拡大を図ってきた事業者について、鹿児島県連が運営するアンテナショップに出展することで、西日本での販路拡大を図るとともに、新規客からの商品に対する評価を収集することで、新商品や新規格の開発につながる可能性が広がった。

出展時期：令和6年11月8日(金)～10日(日)3日間

出展者：1者(2名)

米、米すくい、ピュアホワイトドレッシングの販売

売上：約13万円

③経営発達支援事業の評価・見直しを行う事業

具体的な内容：「クラウド型経営支援ツール導入」

支援ツール 「経営支援システム Shoko Biz」

経営分析数 37件(目標50件)

事業計画策定数 14件(目標30件)

3. 令和6年度経営発達支援事業実績報告について

事務局より、別紙資料(評価シート)に基づき説明した。

和田会長 1～3について質疑等受けます。

工藤委員 4. 需要動向調査に関する②商工会ホームページを活用したアンケート調査と6. 事業計画策定支援に関する①DX推進セミナー・個別相談会の開催に関して、評価はDとなっているが、小規模事業者にはSNS等の活用を助言しているので、評価はCでいいと思う。
8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する⑤リーフレット等作成事業者数の実績は4者あるので、評価はDとなっているが評価はCでいいと思う。

細川委員 「北海道味覚マルシェ」開催できなかった理由は何か。

工藤委員 この事業は道商工連主催の事業であります。補助金と日程の調整がつかず開催できなかった。

細川委員 デジタルサイネージの件だが、ぼろろの検索が少ないように思われる。町外客を誘導する狙いであれば、ぼろろよりスポーツセンターがいいのではないか。南幌リバーサイドゴルフ場もいいかも。

岩本委員 変更するタイミングがあれば、スポーツセンターもいいかもしれない。ぼろろの体育館の利用も多く、町外の利用者もいる。
広告掲載2年目以降は、掲載料を半額にする考えなので、利用してほ

しい。

細川委員 期間限定の広告はできるのか。

岩本委員 イベント周知の活用はできる。

4. 令和7年度伴走型小規模事業者支援推進事業の事業計画（案）及び予算（案）について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して令和7年度の事業計画等の説明を行った。

①事業：新たな需要の開拓に寄与する事業

北海道じゃらんへの広告掲載による売上と利益の増加を目標とする。

工藤委員 費用対効果が求められる。令和6年度のデジタルサイネージ広告事業を振り返り、令和7年度になぜ北海道じゃらんに掲載するのか、売上や利益の増加につながるのか。しっかり検証し事業計画を策定することが必要である。

「北海道味覚マルシェ」を開催する予定であるので、会員等に周知してほしい。

5. 事業の評価・見直し等について

和田会長から各委員へ経営発達支援事業の実施状況報告や成果の評価、見直し、改善等の意見を求めた。

事務局 様々なご意見をいただきましたので、今後の小規模事業者の経営発達支援に役立てます。

6. その他

事務局 「南幌町商工会経営発達支援計画評価委員会」について説明する。

その他、会長は意見等を求めたが特に発言はなく、評価支援委員会を閉会した。

時に 14時30分